

～高丸山の森づくり情報～



遊学の森便り

第 200 号
240129

1月の遊学の森のようす



今年の冬は暖かい日が多いので、1月上旬の高丸山は雪が見当たりませんでした。



森の中を歩くと、落ち葉の色が目立ちます。小鳥たちもあちこちで飛び回っていました。



中旬から、下旬にかけて寒波到来。遊学の森も雪が積もっていました。



山の気温は低いので、影のところを歩くと足元には霜柱が立っていました。踏むのがもったいない。



スギの木を見ると、葉っぱの先端の雄花の色が変わっていました。もう間もなく花粉のシーズン。



森の中に、面白い形になったケヤキがありました。このねじれはどうやってできたんだろう。

■森づくり作業・管理レポート

●みんなの森づくり日記 1月5日～31日

活動内容	活動日	被害箇所	活動団体	作業内容
獣害被害 防除ネット 修復	1月 8日 21日	4か所 15か所	かみかつ 里山倶楽部 事務局	森づくり区画の外周を囲うネットの見回りと、被害報告です。 今月のネットの修繕は19か所でした。動物にかみ切られたり、土砂崩れの影響でネットに穴が開いており、それを修繕しました。積雪時はネットに穴が開けられやすいです。2月も引き続き見回りをしていきます。

■トピックス

●樹木の冬芽など

先月は実でしたが、今月は樹木の冬芽をご紹介します。木の種類によって、冬をすごす芽の形も違います。芽をおおう芽鱗（がりん）がカバー状だったり、毛があったり、着物の襟もとのようだったり、葉っぱが開いていたり…（これは暖かいから開いたかもしれません）。皆さんのお近くの公園、足元の植物など見てみたら面白いかもです。ぜひ観察してみてください。



シロモジ。とがった芽と、丸い芽があります。春になると葉っぱと花が開きます。



左と似ていますが、赤い冬芽です。違う樹種になります。こちらはクロモジです。



フジ。芽は毛に包まれています。見た目も暖かそうで、冬を乗り切れそうです。



見たとき、マッチ棒みたいだと思いました。ハンノキの仲間です。



春になると、日を反射して、白いところがピカピカ光ります。ヒメシヤラ。



バラ科の仲間です。葉っぱを出して冬を越すのかな…。他も見てみます。

●高丸山の道の様子

高丸山へ向かう県道及び町道ですが、1月下旬の大寒波前までは、右の写真のようでした。凍結なく、法面からの土砂に要注意でした。しかし、現在は路面凍結が起きています。ノーマルタイヤの2輪駆動、もしくは凍結路面の運転に慣れていない方は危険です。暖冬とはいえ、山ですので積雪、路面凍結はあります。冬季の登山は、装備など不安な方はお休みください。

ただし、予報を見ると2月上旬に、気温が高めの雨が降るようです。それで路面の凍結が解除される可能性があります。



千年の森ふれあい館（指定管理者：一般社団法人かみかつ里山倶楽部）

〒771-4502 上勝町旭中村 66-1 TEL：0885-44-6680 E-mail：sennenmori@@kkcatv.jp

※本便りは、千年の森 HP にフルカラーでアップ中です。http://www.1000nen.biz-awa.jp